

飲酒運転撲滅に向けての緊急アピール

飲酒運転については、先月末に福岡県で発生した幼児3名が犠牲となった衝撃的な事故をはじめ、全国各地でたて続けに事故が起きており、国民的な問題となっております。

また、県内においても、伊平屋村内での公務員による死亡事故や沖縄市でのひき逃げ死亡事故等が、社会的な問題となっております。

特に、公務員の信頼を揺るがすような深刻な交通事故が、県内及び県外において続いて発生したことは誠に遺憾であり、県民の皆様に対し、厳に襟を正す必要があります。

県としても、国や県警察、教育委員会、市町村、県内関係機関や民間団体からなる沖縄県交通安全推進協議会において、新たに飲酒運転撲滅対策部会を設置し、緊急な対策を検討しているところであります。

特に、本県は交通死亡事故に占める飲酒運転の割合が11年連続ワースト1との状況が続いており、今月21日から30日までの10日間にわたり実施される、平成18年秋の全国交通安全運動では「ストップ ザ 飲酒運転 広げよう 地域の輪」のスローガンの下、飲酒運転撲滅を県民総ぐるみで推進してまいります。

飲酒運転による交通事故の抑止については、あらゆる機会をとらえて県民意識の高揚を図り、家庭を始め、地域、職場等社会全体に「飲酒運転を撲滅する」との気運を醸成するとともに、県民一人一人が交通ルールを守り、「飲酒運転は犯罪である」との心で行動することが必要です。

県としましても、「日本一交通安全な県」を目指して、飲酒運転撲滅に向け全力を尽くしてまいります。

県民の皆様におかれましても、悲惨な交通事故につながる飲酒運転は、「一切しない、させない」との強い決意をもって、安全運転に心がけていただくようお願いいたします。

平成18年9月15日

沖縄県交通安全推進協議会長
沖縄県知事 稲 嶺 恵 一